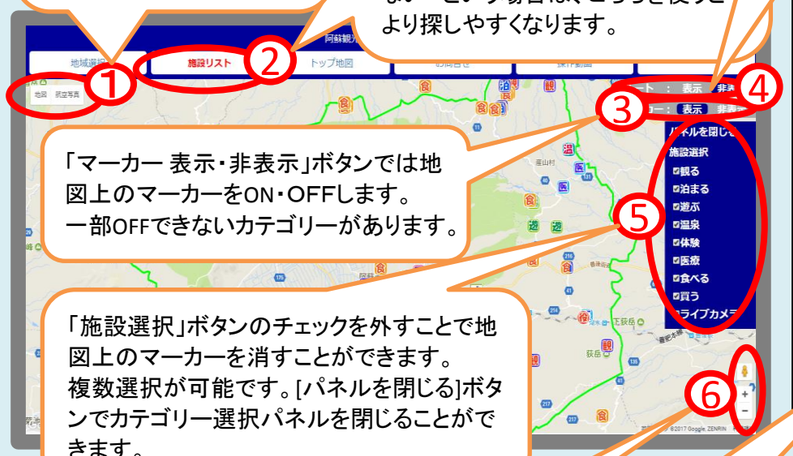
◆画面操作

”地域観光マップ”の操作画面をPCとスマホで説明いたします。

Google Map標準。通常地図と航空写真を切り替えます。航空写真のラベルを外すことでも違った見え方をします。

「施設リスト」各カテゴリー別の一覧表示にジャンプします。その中の「カテゴリー選択ボタン」で、各カテゴリー別の一覧にジャンプします。”施設名はわかるがどこにあるかわからない” という場合は、こちらを使うとより探しやすくなります。

「ルート表示」ボタンはユーザーの現在地から目的の施設までのルートーを表示します。その際、ユーザーの端末のGPSがONになっている必要があります。



「マーカー 表示・非表示」ボタンでは地図上のマーカーをON・OFFします。
一部OFFできないカテゴリーがあります。

「施設選択」ボタンのチェックを外すことで地図上のマーカーを消すことができます。
複数選択が可能です。[パネルを閉じる]ボタンでカテゴリー選択パネルを閉じることができます。

Google Map標準。＋ － ボタンで地図の中心地を移動しないまま、「拡大・縮小」をすることができます。

「地図トップへ」ボタンをクリックすることで、メニュー面が移動し、地図面のみの表示になり、地図がより見やすくなります。

「メニューへ」ボタンをタップすることで、上記のようなメニューが表示されます。特に「施設リスト」ボタンでは各施設を一覧表示します。地図上で探せない施設は「施設リスト」から探すことをおすすめします。

マーカーをクリックした後に「ルート表示」の「表示」をクリックすることで、ユーザーの今いる場所（現在地）から目的に施設までのルートを表示します。青い線がルートです。同時に現在地から目的の施設までの概算距離も表示されます。

ルート表示のままで、地図の「拡大・縮小・移動」が可能です。

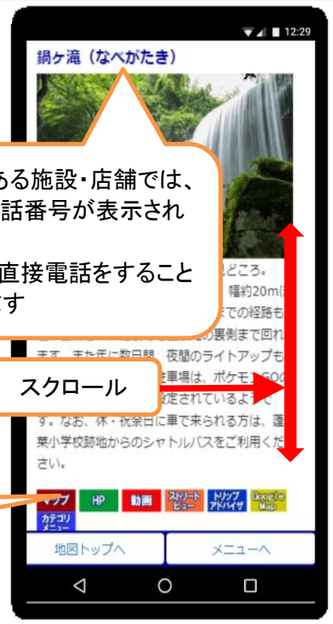
地図上のマーカーをクリックすることで吹き出しが表示されます。
吹き出し内のボタンから、「電話を掛ける」「関連するリンク先を開く」が簡単にできます。

- 「施設リスト」内の各施設に配置してあるリンクボタンの内 マップ 「マップ」ボタンでは、地図面が該当する施設位置に移動し、「吹き出し」を表示します。「吹き出し」内のリンクボタンからも関連するサイトに移動できます。
- 地図上のマーカーは、カテゴリー別に色分けされて表示します。マーカーが重なっている場合は、地図を拡大することでよりわかりやすくなります。
- 地域によっては新しいカテゴリーを設定するほうがよい場合があるかと思います。その際は新しいカテゴリーを設定することも可能です。
- 施設に即したリンクボタンの設置にも対応いたします。

カテゴリー別施設一覧にジャンプします。

カテゴリー別施設一覧にジャンプします。

各施設にはリンク先ボタンがあります。ボタンをクリックすることで、それぞれのリンク先にジャンプします。



電話のある施設・店舗では、ここに電話番号が表示されます。
ここから直接電話をすることができます

スクロール

”地域マップ” の特徴

① 地域全体を、1枚のGoogle Map上で表示します。何はどこに。・・・どこには何が！ がすぐわかります。
② 地図上のアイコンをクリック(タップ)すれば「吹き出し」が表示されます。吹き出しには各施設の詳細情報があります。
③ 地図は使い慣れたGoogle Map なので、航空写真に切り替える事でよりわかりやすく見ることができます。
④ 拡大・縮小・移動思いのままにできます。
⑤ 地図上で探す。リストから探す。2つの検索システムを備えていますので、名前の知らないお店・観光地でも素早く探すことができます。
⑥ レスポンシブ対応なので、あらゆる端末（PC・スマホ・タブレット）で見ることができます。
⑦ ルート表示ボタンからルート表示が可能です。全国どこからでも目的の施設・店舗までルート表示をすることができます。
⑧ カテゴリー選択パネルで地図上のマーカーをON/OFFで切り替える事ができます。
⑨ 地域に即した独自ドメインの取得も可能です。
⑩ 作成した地域マップの”QRコード”の作成も致します。